

## 歴史と文化 (History and Culture)

### (総) 中国語 II (Chinese Language 2)

葭森 健介・教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 後期 火 5・6

(平成 19 年度以前の授業科目: 『歴史と文化』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『中国語 (2)』)

【授業の目的】全学共通教育中国語初級で身につけた中国語の能力を高め、実用として使いこなす事のできるよう、読解と聞き取りを中心にトレーニングを行う。

【授業の概要】教材に現代中国の社会や文化に関する記事を取り上げ、時事や現代文化に関する語彙力と速読の能力を養成する。特にインターネット等で探した、最新の中国についての記事を扱う。そのために必要な中国語サイトの閲覧方法、中国語ワープロの使い方などの知識も身につけてもらう。

【キーワード】中国語、時事問題、現代中国

【到達目標】中国語の新聞やインターネットの記事が辞書を引いて読めること。指定する基本単語及び基本表現を覚え使いこなせることを目標とする。

【授業の計画】

1. 中国語の文法と表現 の復習
2. 日常生活で聞く中国語
3. 中国語のテレビ番組を見てみよう (リスニング練習)
4. 中国語のホームページの閲覧方法
5. インターネットの記事を読む (1-a)
6. インターネットの記事を読む (1-b)
7. 中国語の文法と表現 (2)
8. 中国語ワープロを打ってみよう (1)
9. 中国語ワープロを打ってみよう (2)
10. 中国語ワープロを打ってみよう (3)
11. インターネットの記事を読む (2)
12. インターネットの記事を読む (3)
13. インターネットの記事を読む (4)
14. 中国語 II の総復習
15. 後期学期末試験
16. 後期学期末試験講評

【教科書】プリント配布

【参考書等】1 年次に使用した辞書及び中国語のテキストを必ず持参のこと。

【成績評価の方法】授業での発表、小テストと学期末テストの点数を総合して行う。

【再試験の有無】原則無し。ただし受講状況に応じて再試験を行うこともある。

【受講者のメッセージ】総合科学部学生は学部専門科目として登録すること。総合科学部以外の受講希望者はあらかじめ相談のこと。共通教育で中国語初級または中国語 (1)4 単位を履修済み、あるいは HSK3 級、中国語検定 4 級及びそれに相当する語学力を有していることが絶対条件である。従ってこれに該当しない学生には受講資格認定試験を行い、不合格の場合は受講できない。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221330>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 葭森 (アジア史研究室, 088-656-7156, [yosimori@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:yosimori@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: 月曜日16:30~ 17:30)

【備考】総合科学部全学生と医学部の平成 17 年度以前の医学部保健学科の入学生をのぞき平成 19 年度以前の授業科目: 『歴史と文化 / 中国語 II』として 2 単位が認定される。総合科学部の平成 16 年度以前、医学部保健学科の 17 年度以前 入学生は授業科目: 『中国語 (2) / 中国語 (2)』として 1 単位が認定される。